

第3期第7回理事会 議事録

- I. 期日 2014年6月1日(日) 10:00~12:10
- II. 場所 明治大学駿河台キャンパス 研究棟四階第三会議室
東京都千代田区神田駿河台1-1
JR・東京メトロ「お茶の水駅」下車 徒歩5分

出席者： 16名

理事： 野々山隆幸、林正樹、平野文彦、菊谷正人、西田安慶、風間信隆、亀川雅人、高橋誠、星野靖雄、平松一夫、佐藤信彦

会計監事： 堀田友三郎

理事長補佐： 片上洋、吉岡正道

幹事： 阿部信太郎、岩波文孝

(敬称略)

III. 議事

- 第3期第6回理事会議事録確認が行われた。承認された。

[報告事項]

1. 『新しい経営学の創造』の発行と分担購入の状況について (別紙資料) 風間理事
中央経済社から各学会からの入金リストが示された。5月27日現在、加盟59学会中、18学会が未入金である。また、日本監査研究学会から、分担購入ができない旨の返信と書籍の返却があった。

各加盟学会においては2冊を分担購入していただくこととして、それを評議員の個人研究費で購入していただくのか、学会で購入していただくのか、各学会で決めていただくことが前回の理事会で図り承認されたので、今回も再度確認したい。

未購入の学会については、本協議会の出席者に購入の要請をしていただきたい。

2. 科研費(英文オンラインジャーナル発行に関わる資金)申請の結果について

星野理事

下記のような通知があったので報告する。

公募取組名 査読付き英文オンラインジャーナルの発行による国際情報発信の強化

審査結果：不採択

審査の所見：我が国の経営学関連分野の国際情報発信が遅れている現状において、学会協議会として査読付き英文オンラインジャーナルを刊行する取り組みは、新規性があり意義

もある。ただし、以下の点について意見があったので、今後、一層の組織的な準備活動を進め、論文刊行の実績を確保することを期待したい。

- ① 投稿論文数や掲載論文数など、取り組みの具体的な評価指標を明らかにする。
- ② 現状は、ジャーナル創設の準備段階にあり、質の高い論文が継続的に公刊できるか明確でない。

3. 構成学会の2014年度全国大会（別紙資料） 星野理事

開催期日・開催場所・統一テーマ等の登録状況について別紙資料により、加盟59学会中、判明している学会について提示された。2015年3月発行のニューズレターに全国大会一覧を掲載したい。

4. 構成学会の2014年1月31日現在の会員数調査の結果について 西田副理事長

21学会から回答をいただき、現在の合計会員数は、のべ13,694人である。全学会から回答をいただくと、3万人近くの人数になるものと予測される。

5. ニューズレターNo. 5への掲載内容と発行予定日について 佐藤理事

9月末までに各評議員宛てに発送したい。西田副理事長の巻頭言議事録。第7回シンポジウム、所属学会事務局一覧、本協議会設立趣旨等を掲載する。

6. その他

日本経営学会第88回大会、経営者講演会についての案内が示された。評議員会でも案内を配布させていただきたい。

〔協議事項〕

1. 2013年度事業報告 西田副理事長

別紙「平成25年度収支決算書」に基づき、2013年度の事業内容について説明がなされた。承認された。

2. 2013年度決算報告 西田副理事長

別紙「平成25年度収支決算書」に基づき、説明がなされた。

会計監査は、5月21日に東海学園大学にて、友杉芳正 会計監事、堀田友三郎 会計監事によって行われた。

別紙「監査報告書」に基づき、堀田友三郎 会計監事から監査報告が行われた。監査報告書については、文章を一部変更したうえで、5月27日に署名捺印を行った。

承認された。

3. 2014 年度事業計画

西田副理事長

別紙「平成26年度収支予算書（案）」に基づき、2014年度の事業計画について説明がなされた。

上記の提案に基づき、意見交換が行われ、承認された。

4. 2014 年度予算案

西田副理事長

別紙「平成26年度収支予算書（案）」に基づき、2014年度予算案について説明がなされた。

高橋理事より第7回シンポジウム「経営学者は日本の経営をどう見るか」の開催費、調査費、広告・PR費等の予算について補足説明がなされた。

上記の提案に基づき、意見交換が行われた。

- ・ 評議員に対して簡単な懇談会を開催できるような予算措置をしたらどうか。
- ・ 評議員会費を5万円増加して13万円にしたらどうか。（承認）
- ・ 当期支出合計を2,858,800円とする。（承認）
- ・ 次期繰越金がこのペースでいくと、数年後に0になりそうなので要注意である。
- ・ 予備費は、出版積立金ではなく、純然たる予備費とする。（承認）
- ・ 役員交通費は、役員会2回までの支出とする。3回目の交通費は不支出。（確認事項）

上記、修正の上、承認された。

5. 新規加盟申請学会の承認について

西田副理事長

標準化研究学会から、加盟申請をするかどうか、当該学会全国大会で7月に審議の上、決定したいとの申し出があったため、この件については継続審議とする。承認された。

6. 第4 期（任期2015 年4 月～2018 年3 月まで）の理事・会計監事の選出について

西田副理事長

会則の改正について、別紙資料に基づき、林理事から説明がなされた。

上記の提案に基づき、意見交換が行われた。

- ・ 本協議会の仕事を実際にできる評議員、理事を選出できる仕組みにしていきたい。
- ・ 立候補できる仕組みを作ったらどうか。
- ・ 立候補制がいいかどうか、不明である。
- ・ 第4期理事・会計幹事の選出については、副理事長4名の検討委員会で検討することとする。林副理事長を責任者とする。（この件について承認）
- ・ 郵送での投票がいいのではないか。評議員会の出席者による投票には問題がある。
- ・ 人数の多い学会の評議員を増やしたらどうか。
- ・ 三選禁止規定を適用するかどうか検討が必要である。

- ・オンライン会議も検討する

以上、検討委員会で検討し、次回役員会までに素案を作成することが承認された。

選挙の日程については、3月上旬の出席率がいいので、3月8日（日）に理事会・評議員会を開催することが承認された。

7. 日本経営学会連合との関係について

風間理事

風間理事から説明がなされた上、意見交換が行われた。

- ・2013年4月に日本経営学会連合が設立されたが、本協議会と競合するのではないかと。
- ・両者の目的は違うものと考えられる。競合するとは思われない。
- ・本協議会と日本経営学会連合との役員兼任はありえないのではないかと。
- ・日本の経営学の発展のための広い観点から見れば、認められるのではないかと。
- ・本協議会は、日本学術会議と関連する組織であるので、その点で違う。

8. 第7回シンポジウムの開催について

高橋理事

高橋理事より、下記の案が説明された。

「経営学者は日本企業の経営をどう見るか」

(2014年11月23日開催、於：明治大学駿河台キャンパス)

全構成学会の全会員対象のアンケート実施

- ①経営学者は日本企業の経営をどう見るか
- ②経営学者が推薦する「知られざる日本の優秀企業」
- ③その他
- ◎アンケート実施項目について一趣旨説明と討議

- ・①についてアンケートをとる。②については地元の企業についてアンケートをとる。
- ・今のテーマは仮のテーマである。テーマと質問は今後、変わることがあり得る。評議員、理事の意見を募りたい。
- ・日本経済新聞と連携のうえ、アンケートを実施し、冊子にまとめ、シンポジウムを開催する。アンケートの対象は、加盟学会の会員全員。
- ・「経営学者は日本企業の経営をどう見るか」を仮のテーマとするが、本理事会の後に開催される評議員会でより良い案があれば、ポストイットに記入の上、ご提出いただく。また、アンケート項目についても同じく提案があればご提出いただく。加盟学会事務局にメールをするので、加盟学会会員への周知徹底をお願いしたい。学会大会などでも広報をお願いしたい。500名以上は回答を集めたい。

以上

上記の提案に基づき、意見交換が行われ、承認された。

9. その他

特になし。

以上